



2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月15日

上場会社名 株式会社 ピエトロ
コード番号 2818 URL <https://www.pietro.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 泰行

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長 (氏名) 池田 章朗

TEL 092-724-4927

定時株主総会開催予定日 2024年6月26日

配当支払開始予定日

2024年6月27日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	10,096	10.8	218		201		109	
2023年3月期	9,108	6.6	75		81		399	

(注) 包括利益 2024年3月期 125百万円 (%) 2023年3月期 364百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	17.38		1.9	2.1	2.2
2023年3月期	66.00				

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	10,583	6,429	60.8	933.71
2023年3月期	8,832	5,057	57.3	834.57

(参考) 自己資本 2024年3月期 6,429百万円 2023年3月期 5,057百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	729	565	1,030	2,567
2023年3月期	560	206	325	1,359

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		0.00		24.00	24.00	145		2.7
2024年3月期		0.00		24.00	24.00	165	138.1	2.7
2025年3月期(予想)		0.00		24.00	24.00		134.4	

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,944	8.4	400	83.1	294	45.7	123	12.1	17.86

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	7,062,230 株	2023年3月期	6,257,230 株
期末自己株式数	2024年3月期	176,195 株	2023年3月期	196,658 株
期中平均株式数	2024年3月期	6,312,780 株	2023年3月期	6,052,784 株

(参考) 個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	9,858	10.7	341	8,028.1	309		234	
2023年3月期	8,906	6.6	4	98.9	2		320	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	37.12	
2023年3月期	52.87	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年3月期	10,688		6,599		61.7		958.46	
2023年3月期	8,865		5,115		57.7		844.05	

(参考) 自己資本 2024年3月期 6,599百万円 2023年3月期 5,115百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の6ページ「1. 経営成績等の概況(2) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会及び決算補足説明資料)

当社は、2024年5月15日(水)にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。
 決算補足説明資料については、説明会当日に会場にて配布及び説明会終了後に当社HPに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績・財政状態の概況	2
(2) 今後の見通し	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	15
(重要な会計上の見積り)	16
(セグメント情報)	17
(1株当たり情報)	20
(重要な後発事象)	20
4. 個別財務諸表及び主な注記	21
(1) 貸借対照表	21
(2) 損益計算書	23
(3) 株主資本等変動計算書	24
(4) 個別財務諸表に関する注記事項	26
(継続企業の前提に関する注記)	26
(重要な会計上の見積り)	26
5. その他	26
役員の異動	26

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績・財政状態の概況

① 当期の経営成績

当連結会計年度(2023年4月1日から2024年3月31日)におけるわが国経済は、コロナ禍の終息に向け経済社会活動の正常化が進み、緩やかな景気回復に向かう一方、緊迫した世界情勢に加え、物価高や円安の長期化等、先行き不透明な状況が続いています。

食品業界では原材料費の高騰等に伴う様々な商品の値上げ拡大による影響が大きく、節約志向が一段と強まりました。一方、外食業界におきましては、行動制限も緩和され回復傾向ではありますが、原材料やエネルギー価格の上昇、労働力不足による人件費上昇等、依然として経営環境は厳しいものとなっています。

このような状況のもと、当社グループは、商品、レストラン、直販店舗を通して「おいしさと健康」をお客様に提供し、ファンを基盤にした経営、マーケティングの強化、商品の強みを生かした価値訴求のさらなる追求を行いました。

商品事業では、ブランドの強みを活かした営業改革に取り組んだことに加え、前期に行った価格改定が奏功し、増収となりました。店舗事業では、顧客満足を追求した施策や新規出店効果により大幅な増収となり、当連結会計年度の売上高は、グループ全体で100億96百万円(前期比10.8%増)となりました。

利益面では、商品事業において原材料や資材価格等の高騰の影響を受けたものの、価格改定の効果や製造原価低減に努めたことに加え、店舗事業では既存店売上の回復と利益構造改革による利益率の改善、また新規店舗が好調だったこと等により再黒字化を達成した結果、営業利益は2億18百万円(前期は75百万円の損失)、経常利益は2億1百万円(前期は81百万円の損失)、親会社株主に帰属する当期純利益は1億9百万円(前期は3億99百万円の損失)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

【商品事業】

・ドレッシングカテゴリー

収益基盤のドレッシングカテゴリーでは、定番商品の「ピエトロドレッシング和風しょうゆ」と健康志向に応えるカロリー、油分カットの「ピエトロドレッシンググリーン和風しょうゆ」に改めて重点を置き、未開拓エリアへの販路拡大や、さらなるリピーター創出のためのマーケティング強化を図りました。また、春夏限定商品の「ピエトロドレッシングうめ」、秋冬限定商品の「ピエトロドレッシング黄金しょうが」、9月にリニューアルした「ピエトロドレッシング焙煎香りごま」の販売が好調に推移しました。

さらにトッピング商品のフライドオニオン「PATFUTTE(パットフutte)」シリーズは、レストランのテーブルで自由にお試しいただける“テーブルマーケティング”により、レストラン店頭物販で好調が続く実績を基に量販店向けの配荷拡大に取り組んだ結果、流通商品としても順調に販売額を伸ばしました。

これらの施策に加え、前期に行った価格改定も奏功し、ドレッシングカテゴリーは前期を上回る販売額となりました。

・パスタカテゴリー

第2の柱であるパスタカテゴリーでは、ボトル入りパスタソース「おうちパスタシリーズ」のさらなる簡便性の訴求を行うとともに、3月には新シリーズとして、手軽に“あえるだけ”で本格的なパスタができあがる、トッピング付きの「ピエトロ あえるだけパスタソース」2品(和風しょうゆガーリック、和風ペペロンチーノ)を発売し、新たなパスタソースカテゴリーに初参入しました。

また、レトルトパスタソース「洋麺屋ピエトロ」は“レストランの味をご家庭で”の強みを活かした提案を行った結果、人気の「なす辛」や「蟹と蟹みそ」が好調に推移しました。さらに、「絶望スパゲティ」の認知拡大を図るため、映画とのタイアップキャンペーンを行う等のプロモーション強化を行うとともに、レストランで人気のパスタ、「高菜とベーコン」を新商品として投入しました。

プレミアムパスタ麺「AGNESI」は“ピエトロレストランで使用するパスタ麺”として認知拡大を図ったことにより、家庭用、業務用ともに前期を大きく上回る販売額となりました。

以上の結果、前期の新型コロナウイルス自宅療養者向け商品需要の反動減はあったものの、プレミアムパスタ麺「AGNESI」が好調に推移し、パスタカテゴリー全体で前期の販売額を上回りました。

・冷凍食品カテゴリー

成長事業である冷凍食品カテゴリーでは、流通販売店の冷凍食品売場の拡大に加え、大手ECモールでの拡販に努めました。プレミアム冷凍食品として、レストランクオリティが家庭で簡単に楽しめる点を強みとし、冷凍パスタを中心にピザ、ドリア、グラタン等の拡販強化を行うとともに、レストランメニューやレトルトパスタソースで人気の味わいを冷凍食品にした「〔冷凍パスタ〕洋麺屋ピエトロ 絶望スパゲティ」、「〔冷凍パスタ〕洋麺屋ピエトロ 高菜とベーコン」をはじめ、冷凍グラタンや冷凍ピザ等のリニューアル商品を発売し、配荷拡大に繋げた結果、前期の販売額を上回りました。

・ スープカテゴリー

素材や調理法にこだわった「PIETRO A DAY」ブランドとして育成中のスープカテゴリーは、通信販売をはじめ、店舗事業セグメントでもある直販店、レストラン店頭の商品として、販売を順調に伸ばしました。季節にあった限定パッケージを展開し、ギフト需要を大きく伸ばしたこと等により前期の販売額を上回りました。

その他、発売から42年の主力商品「ピエトロドレスリング和風しょうゆ」が、2023年5月初めに累計出荷本数3億本を達成したことを記念し、これまでの感謝を込め、お客様の願いを叶える「ありがとうチャレンジ」企画として、工場見学や出張レストラン、セレクトショップ「BEAMS」とのコラボ商品8アイテムを発売する等、様々な感謝イベントを実施しました。

利益面では、主原料価格の高騰の影響を受けたものの、価格改定の効果や製造原価低減に努めた結果、セグメント売上高は60億69百万円（前期比3.3%増）、セグメント利益は16億56百万円（前期比8.0%増）の増収増益となりました。

【店舗事業】

・ レストラン店舗

レストラン店舗では、商品事業とのシナジーが期待できる未出店エリアを含む6店舗の新規出店を行い、商品事業と連動したエリアマーケティングを展開しました。既存店においても、味、雰囲気、サービスの総合点を磨き、さらなる顧客満足度向上を図りました。メニュー戦略としては、高付加価値メニューやディナーメニュー、季節・期間限定の特別メニューの提供の他、3月にはグラントメニューを刷新し、“おいしさと見た目の楽しさ”を詰め込んだサラダをはじめ、パスタやピザ等、メニューの拡充を行いました。また、季節のフルーツを贅沢に使用したスイーツやお食事と一緒に楽しめるモクテル（ノンアルコールカクテル）等、スイーツ・ドリンクメニューの強化を図りました。さらに、より質の高いサービスを追求するためのスタッフ研修の強化を継続したことで、既存店の顧客単価、来客数ともに上昇しました。物販強化策としては、テイクアウトメニューの拡充、デリバリーへの対応、レストランでのテーブルマーケティング等に引き続き取り組みました。これらの結果、レストラン店舗の販売額は前期を大きく上回りました。

・ 直販店舗

スープカテゴリーでもあるPIETRO A DAY ブランド等の直販店舗では、スープの試食や、カフェメニューを通じて、商品の美味しさをお客様に直接伝えるマーケティングや期間限定のPOP UP店舗の出店も継続的に行いました。季節やイベントに応じたギフト提案や試食強化を行い、認知拡大を図ったことにより、流通やオンラインでの販売にも繋げることができました。

また、当社の全商品が揃う初のオフィシャルストアを名古屋に新規出店しました。より商品の魅力や価値が伝わるような商品ディスプレイを行うことで、お客様に手にとっていただきやすい売り場づくりを行いました。

店舗の新規出店につきましては、次のとおりです。

出店・リニューアル時期	店舗名
2023年4月	ピエトロ イオンモール新潟南店
2023年4月	ピエトロ イオンモール札幌発寒店
2023年5月	ピエトロ 東京ドームシティ ラクーア店
2023年6月	PIETRO MIOMIO 福岡大名ガーデンシティ店
2023年8月※直販店舗	ピエトロ OFFICIAL STORE 名古屋ラシック店
2023年12月	ピエトロ イオンモール浜松市野店
2024年2月	ピエトロ イオンモール直方店

利益面におきましては、レストラン店舗の既存店、新店ともに売上が好調だったことと、原材料や諸費用の価格上昇に伴うメニューの見直しや価格改定の効果に加え、国内外の不採算店舗の閉店、コミュニケーションツールの導入による店舗運営の生産性と効率性の向上、人員配置の適正化等に取り組んだ結果、セグメント売上高は38億59百万円（前期比25.4%増）、セグメント利益は24百万円（前期は1億19百万円の損失）と増収増益となり、再黒字化を達成しました。

<店舗数の増減>

(単位：店舗)

	前期末	増加	減少	当期末
直営店	23 (1)	6 (-)	1 (1)	28 (-)
F C 店	12 (-)	- (-)	- (-)	12 (-)
直販店	6 (-)	1 (-)	3 (-)	4 (-)
合計	41 (1)	7 (-)	4 (1)	44 (-)

(注) ()内は内数であり、海外店舗数であります。

【その他(本社ビルの賃貸等)事業】

その他(本社ビルの賃貸等)事業におきましては、売上高は1億67百万円(前期比6.6%増)、セグメント利益は80百万円(前期比20.7%増)となりました。

②当期の財政状態

当連結会計年度末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて17億51百万円増加し、105億83百万円となりました。これは主に新株発行による増資等により現金及び預金が11億62百万円増加した他、売掛金が2億49百万円、有形固定資産が2億50百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3億79百万円増加し、41億53百万円となりました。これは主に未払金が1億99百万円、買掛金が1億29百万円、未払法人税等が1億37百万円増加する一方、長期借入金(1年内を含む)が1億13百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ13億71百万円増加し、64億29百万円となりました。これは新株発行による増資13億55百万円と譲渡制限付株式報酬制度導入に伴う自己株式の処分35百万円並びに為替換算調整勘定が11百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1億9百万円の計上により増加した一方、前期決算の剰余金の配当1億45百万円の支払いによるものであります。

③キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

	2023年3月期	2024年3月期	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	560	729	169
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206	△565	△358
財務活動によるキャッシュ・フロー	△325	1,030	1,356
現金及び現金同等物に係る換算差額	39	12	△27
現金及び現金同等物の増減額	68	1,207	1,139
現金及び現金同等物の期末残高	1,359	2,567	1,207

営業活動によるキャッシュ・フローは、7億29百万円の収入（前期は5億60百万円の収入）となりました。税引前当期純利益が1億74百万円であり、減価償却費4億44百万円、減損損失38百万円あったことと、売上債権が2億48百万円、仕入債務が1億28百万円、未払金が2億5百万円増加したこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、5億65百万円の支出（前期は2億6百万円の支出）となりました。有形固定資産の取得による支出6億56百万円、長期前払費用の取得による支出45百万円がそれぞれあった一方、保険積立金の解約による収入が1億49百万円あったこと等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、10億30百万円の収入（前期は3億25百万円の支出）となりました。株式の発行による収入が13億42百万円あった一方、長期借入金の返済による支出が1億13百万円、配当金の支払額1億45百万円があったこと等によるものです。

以上の結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、25億67百万円となりました。

項 目	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率	57.3%	60.8%
時価ベースの自己資本比率	126.2%	118.2%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	2.9年	2.0年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	80.7倍	99.7倍

(注) 1. 各指標の計算は以下により算出しております。

自己資本比率 : 自己資本 / 総資産
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー / 利払い

- 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
- 株式時価総額は、期末終値株価×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
- 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は貸借対照表上に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(2) 今後の見通し

日本国内においては経済活動は本格的に回復することが期待される一方、引き続き国際情勢の不安定化や、原材料価格、エネルギー価格の上昇等、先行きは不透明な状況にあります。

当社グループにおきましては、商品事業では物価上昇による節約志向の高まりの影響が大きく、店舗事業では食材価格の高騰や人材不足の問題等、予断を許さない状況が続いております。

このような状況下ではありますが、商品事業では、さらなる商品価値の訴求を継続し、第2、第3の柱であるパスタカテゴリー、冷凍食品カテゴリーの強化、収益性の改善等に取り組んでまいります。

店舗事業は、さらなるホスピタリティ向上のための人財育成投資を継続するとともに、高付加価値メニューやダイナーメニューの強化、利益構造改革を着実に進展させ、黒字化の定着を図ります。

さらに、ファンベース経営の継続を行うとともに、商品価値をダイレクトに伝えられる体験型ブランドマーケティング戦略として、レストランで直接商品をお試しいただく「テーブルマーケティング」、お料理教室やさまざまな地域でのイベントを通して商品のおいしさを知っていただく「イベントマーケティング」、未出店地域を中心に年2～4店の出店を行う「エリアマーケティング」により、ブランドの認知拡大を図り、商品事業の拡販につなげてまいります。

以上の取り組みを実施することにより、次期業績につきましては、売上高は109億44百万円、営業利益は4億円、経常利益は2億94百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1億23百万円を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,313,810	2,476,475
預け金	45,864	91,069
売掛金	1,323,877	1,573,196
商品及び製品	166,059	226,442
仕掛品	12,638	17,466
原材料及び貯蔵品	140,360	159,772
その他	137,525	106,486
貸倒引当金	△19	△32
流動資産合計	3,140,117	4,650,877
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,932,375	5,327,894
減価償却累計額	△2,704,345	△2,880,212
建物及び構築物 (純額)	2,228,029	2,447,681
機械装置及び運搬具	1,283,292	1,318,185
減価償却累計額	△884,489	△939,720
機械装置及び運搬具 (純額)	398,803	378,465
工具、器具及び備品	559,611	647,246
減価償却累計額	△415,744	△441,860
工具、器具及び備品 (純額)	143,866	205,385
土地	1,979,201	1,979,201
リース資産	255,943	267,609
減価償却累計額	△206,936	△230,017
リース資産 (純額)	49,007	37,591
建設仮勘定	88,704	89,524
有形固定資産合計	4,887,612	5,137,849
無形固定資産		
リース資産	38,190	12,730
その他	50,130	44,414
無形固定資産合計	88,321	57,144
投資その他の資産		
投資有価証券	16,963	14,408
繰延税金資産	132,133	207,965
敷金及び保証金	413,190	429,946
保険積立金	82,188	—
その他	90,908	104,303
貸倒引当金	△19,392	△19,283
投資その他の資産合計	715,991	737,341
固定資産合計	5,691,925	5,932,335
資産合計	8,832,042	10,583,212

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	530,489	659,948
短期借入金	1,350,000	1,350,000
1年内返済予定の長期借入金	113,333	126,687
未払金	506,451	706,317
未払法人税等	20,530	158,414
契約負債	48,337	24,155
賞与引当金	70,456	68,621
その他	373,106	359,444
流動負債合計	3,012,703	3,453,587
固定負債		
長期借入金	143,334	16,647
リース債務	80,462	53,539
長期預り敷金	103,532	110,550
長期未払金	156,925	180,056
退職給付に係る負債	163,457	171,447
資産除去債務	113,639	167,823
固定負債合計	761,351	700,064
負債合計	3,774,055	4,153,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,042,389	1,719,897
資本剰余金	1,078,422	1,757,874
利益剰余金	3,238,885	3,203,142
自己株式	△336,898	△301,845
株主資本合計	5,022,798	6,379,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	814	4,499
為替換算調整勘定	34,373	45,992
その他の包括利益累計額合計	35,188	50,491
純資産合計	5,057,987	6,429,560
負債純資産合計	8,832,042	10,583,212

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	9,108,269	10,096,486
売上原価	4,469,159	4,773,279
売上総利益	4,639,110	5,323,207
販売費及び一般管理費		
販売促進費	240,202	267,893
運賃	401,712	399,524
広告宣伝費	121,769	134,923
役員報酬	151,836	156,282
給料及び手当	1,700,293	1,923,200
賞与	56,821	61,879
賞与引当金繰入額	53,717	54,436
退職給付費用	53,185	47,637
福利厚生費	228,782	252,019
水道光熱費	138,992	144,664
減価償却費	181,274	188,416
地代家賃	433,579	499,149
その他	952,761	974,676
販売費及び一般管理費合計	4,714,928	5,104,704
営業利益又は営業損失(△)	△75,818	218,503
営業外収益		
受取利息	734	278
受取配当金	240	348
為替差益	—	2,859
貸倒引当金戻入額	140	86
助成金収入	1,626	—
その他	3,205	2,701
営業外収益合計	5,947	6,273
営業外費用		
支払利息	6,979	7,370
シンジケートローン手数料	2,505	2,212
為替差損	1,524	—
新株発行費	—	12,928
その他	975	419
営業外費用合計	11,985	22,930
経常利益又は経常損失(△)	△81,856	201,845

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	3,798	—
保険解約返戻金	7,413	66,924
受取保険金	10,440	—
特別利益合計	21,653	66,924
特別損失		
固定資産除却損	765	12,135
固定資産売却損	14,868	310
固定資産圧縮損	7,178	—
減損損失	314,127	38,047
店舗閉鎖損失	—	35,966
その他	—	7,853
特別損失合計	336,939	94,313
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	△397,142	174,456
法人税、住民税及び事業税	43,731	146,065
過年度法人税等戻入額	△20,738	△3,863
法人税等調整額	△20,625	△77,446
法人税等合計	2,368	64,756
当期純利益又は当期純損失 (△)	△399,511	109,700
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	—	△10
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△399,511	109,710

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△399,511	109,700
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,761	3,685
為替換算調整勘定	33,192	11,618
その他の包括利益合計	34,954	15,303
包括利益	△364,557	125,003
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△364,557	125,013
非支配株主に係る包括利益	—	△10

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,042,389	1,076,152	3,783,364	△371,554	5,530,352
当期変動額					
剰余金の配当			△144,968		△144,968
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△399,511		△399,511
自己株式の取得				△67	△67
自己株式の処分		2,270		34,722	36,992
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	2,270	△544,479	34,655	△507,554
当期末残高	1,042,389	1,078,422	3,238,885	△336,898	5,022,798

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△947	1,181	234	—	5,530,586
当期変動額					
剰余金の配当					△144,968
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)					△399,511
自己株式の取得					△67
自己株式の処分					36,992
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	1,761	33,192	34,954	—	34,954
当期変動額合計	1,761	33,192	34,954	—	△472,599
当期末残高	814	34,373	35,188	—	5,057,987

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,042,389	1,078,422	3,238,885	△336,898	5,022,798
当期変動額					
新株の発行	677,508	677,508			1,355,016
剰余金の配当			△145,453		△145,453
親会社株主に帰属する当期純利益			109,710		109,710
自己株式の処分		1,943		35,053	36,997
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	677,508	679,452	△35,743	35,053	1,356,269
当期末残高	1,719,897	1,757,874	3,203,142	△301,845	6,379,068

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	814	34,373	35,188	—	5,057,987
当期変動額					
新株の発行				—	1,355,016
剰余金の配当					△145,453
親会社株主に帰属する当期純利益					109,710
自己株式の処分					36,997
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,685	11,618	15,303	—	15,303
当期変動額合計	3,685	11,618	15,303	—	1,371,573
当期末残高	4,499	45,992	50,491	—	6,429,560

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△397,142	174,456
減価償却費	426,751	444,406
減損損失	314,127	38,047
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△140	△95
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,006	△1,834
株式報酬費用	37,265	36,993
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15,642	7,990
保険解約返戻金	△7,413	△66,924
受取保険金	△10,440	—
固定資産売却損益(△は益)	11,069	310
固定資産除却損	765	12,135
固定資産圧縮損	7,178	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	7,853
受取利息及び受取配当金	△974	△626
支払利息	6,979	7,370
売上債権の増減額(△は増加)	16,172	△248,107
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,472	△83,508
仕入債務の増減額(△は減少)	57,314	128,679
未払金の増減額(△は減少)	22,460	205,094
未払消費税等の増減額(△は減少)	109,147	△35,162
その他	△18,525	89,956
小計	595,715	717,032
保険金の受取額	10,440	—
法人税等の支払額	△67,330	△27,859
法人税等の還付額	21,905	40,726
営業活動によるキャッシュ・フロー	560,730	729,899
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△197,935	△656,485
有形固定資産の売却による収入	39,163	147
無形固定資産の取得による支出	△17,451	△7,171
敷金及び保証金の差入による支出	△39,995	△24,778
敷金及び保証金の回収による収入	16,601	8,223
貸付けによる支出	△1,800	△3,000
貸付金の回収による収入	7,480	7,001
長期前払費用の取得による支出	△24,452	△45,822
保険積立金の積立による支出	△15,119	—
保険積立金の解約による収入	21,076	149,113
長期預り金の受入による収入	9,709	10,504
長期預り金の返還による支出	△4,878	△3,486
利息及び配当金の受取額	974	611
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206,627	△565,143

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△120,794	△113,333
リース債務の返済による支出	△53,058	△45,256
株式の発行による収入	—	1,342,087
自己株式の取得による支出	△67	—
配当金の支払額	△144,685	△145,338
非支配株主からの払込みによる収入	—	10
利息の支払額	△6,951	△7,324
財務活動によるキャッシュ・フロー	△325,556	1,030,844
現金及び現金同等物に係る換算差額	39,796	12,269
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	68,342	1,207,869
現金及び現金同等物の期首残高	1,291,332	1,359,674
現金及び現金同等物の期末残高	1,359,674	2,567,544

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 3社

主要な連結子会社の名称

ANGELO PIETRO, INC.

PIETRO NORTH AMERICA, INC.

合同会社のこべジファーム

(2) 主要な非連結子会社の名称等

非連結子会社はありません。

2. 持分法の適用に関する事項

非連結子会社及び関連会社がないため、該当事項はありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

ANGELO PIETRO, INC. 及びPIETRO NORTH AMERICA, INC. の決算日は、12月31日です。

連結財務諸表の作成にあたっては、当該連結子会社の事業年度に係る財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

4. 会計方針に関する事項

(イ) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法

② 棚卸資産

商品及び製品、仕掛品

総平均法による原価法

原材料

総平均法による原価法

ただし、店舗事業については最終仕入原価法による原価法

貯蔵品

最終仕入原価法による原価法

なお、貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定しています。

(ロ) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物及び構築物 2年～38年

機械装置及び運搬具 2年～10年

工具、器具及び備品 2年～15年

② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法

ただし、ソフトウェアについては社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

(ハ) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。

② 賞与引当金

当社及び国内連結子会社は、従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しています。

(ニ) 退職給付に係る会計処理の方法

当社及び連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しています。

(ホ) 重要な収益及び費用の計上基準

① 商品及び製品に係る収益認識

当社及び連結子会社の顧客との契約から生じる収益は、主にドレッシング・ソース類の製造及び販売並びにパスタ麺の輸入販売によるものであり、これらの製品及び商品の販売は、顧客に引き渡した時点又は製品及び商品を出荷した時点で収益を認識しております。

なお、商品の販売のうち、当社が代理人に該当すると判断したものについては、顧客から受け取る対価の総額から仕入先に対する支払額を差し引いた純額を収益として認識しております。

② レストランの経営

店舗事業においては、主にパスタ専門店を経営しており、料理の提供を行った時点で収益を認識しております。

③ 本社ビルの賃貸

本社ビルの賃貸においては、リース取引に関する会計基準に従い、賃貸借契約期間にわたり収益を認識しております。

(ヘ) 重要な外貨建資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しています。

なお、在外子会社の資産及び負債は当該子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均為替相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定に含めて計上しています。

(ト) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金（現金及び現金同等物）の範囲

手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資からなっています。

(重要な会計上の見積り)

(店舗事業の固定資産の減損)

1. 連結財務諸表に計上した金額

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
有形固定資産	538,318千円	911,114千円
無形固定資産	787千円	787千円
長期前払費用	18,407千円	36,164千円

2. 会計上の見積りの内容について連結財務諸表利用者の理解に資するその他の情報

レストラン及び直販店舗については、収益性が継続的に悪化した店舗につき、帳簿価額を回収可能価額である使用価値まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

当該レストラン及び直販店舗の使用価値については、将来の収益性を見積りを主要な仮定として算定しておりますが、将来の収益性には店舗立地環境の変化等による一定の不確実性があるため、今後の経過によっては、使用価値の見積りに重要な影響を及ぼし、翌連結会計年度において追加の減損損失が発生する可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は製品、サービス別に事業単位を構成しており、「商品事業」、「店舗事業」、「その他（本社ビルの賃貸等）事業」の3つを報告セグメントとしています。

「商品事業」はドレッシング、ソース、レトルト等の製造販売を行っています。「店舗事業」はスパゲティ、ピザ等のレストラン経営、パスタ専門ファストフード店等の経営を行っています。「その他（本社ビルの賃貸等）事業」は本社ビルの賃貸等を行っています。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいています。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務 諸表計上額 (注2)
	商品事業	店舗事業	その他 (本社ビルの 賃貸等) 事業	計		
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	5,874,728	3,076,943	2,061	8,953,734	—	8,953,734
その他の収益			154,535	154,535	—	154,535
(1) 外部顧客への売上高	5,874,728	3,076,943	156,597	9,108,269	—	9,108,269
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,874,728	3,076,943	156,597	9,108,269	—	9,108,269
セグメント利益又は 損失 (△)	1,533,492	△119,238	66,423	1,480,677	△1,556,496	△75,818
セグメント資産	3,282,799	1,548,202	1,688,121	6,519,124	2,312,917	8,832,042
その他の項目						
減価償却費	189,837	113,032	39,635	342,506	84,244	426,751
減損損失	154,317	159,809	—	314,127	—	314,127
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	57,241	227,994	—	285,235	9,530	294,766

(注) 1 (1)セグメント間の内部売上高又は振替高はセグメント間取引のため、消去しています。

(2)セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

(3)セグメント資産のうち調整額に含めた金額は、主に全社資産であり、管理部門に係る資産等です。

(4)減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額のうち調整額に含めた金額は、主に管理部門に係るもの等です。

2 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益又は損失と調整を行っています。

3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用を含んでいます。

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務 諸表計上額 (注2)
	商品事業	店舗事業	その他 (本社ビルの 賃貸等) 事業	計		
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	6,069,974	3,859,511	489	9,929,975	—	9,929,975
その他の収益			166,510	166,510	—	166,510
(1) 外部顧客への売上高	6,069,974	3,859,511	167,000	10,096,486	—	10,096,486
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,069,974	3,859,511	167,000	10,096,486	—	10,096,486
セグメント利益	1,656,186	24,921	80,201	1,761,308	△1,542,805	218,503
セグメント資産	3,447,933	1,993,485	1,683,155	7,124,575	3,458,636	10,583,212
その他の項目						
減価償却費	194,874	128,264	40,457	363,596	80,810	444,406
減損損失	—	38,047	—	38,047	—	38,047
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	175,121	501,216	53,378	729,716	1,950	731,666

(注) 1 (1)セグメント間の内部売上高又は振替高はセグメント間取引のため、消去しています。

(2)セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

(3)セグメント資産のうち調整額に含めた金額は、主に全社資産であり、管理部門に係る資産等です。

(4)減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額のうち調整額に含めた金額は、主に管理部門に係るもの等です。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用を含んでいます。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しています。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しています。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しています。

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
加藤産業株式会社	913,456千円	商品事業

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しています。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しています。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しています。

3. 主要な顧客ごとの情報

売上高の10%を超える相手先がないため、記載を省略しています。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しています。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しています。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	834円57銭	933円71銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△66円00銭	17円38銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (千円) (△)	△399,511	109,710
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失(△) (千円)	△399,511	109,710
普通株式の期中平均株式数 (千株)	6,052	6,312

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	5,057,987	6,429,560
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	5,057,987	6,429,560
1株当たり純資産額の算定に 用いられた期末の普通株式の数 (千株)	6,060	6,886

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,085,919	2,357,234
預け金	45,864	91,069
売掛金	1,305,972	1,558,497
商品及び製品	149,816	209,791
仕掛品	12,638	17,466
原材料及び貯蔵品	139,426	158,849
前払費用	80,812	76,726
その他	96,889	27,734
貸倒引当金	△14	△16
流動資産合計	2,917,326	4,497,355
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,159,276	2,383,388
構築物	39,746	37,915
機械及び装置	397,879	378,086
車両運搬具	683	74
工具、器具及び備品	142,149	202,771
土地	1,967,061	1,967,061
リース資産	49,007	37,591
建設仮勘定	88,704	89,524
有形固定資産合計	4,844,508	5,096,413
無形固定資産		
ソフトウェア	45,692	37,876
リース資産	38,190	12,730
その他	4,414	6,514
無形固定資産合計	88,297	57,120
投資その他の資産		
投資有価証券	16,963	14,408
関係会社株式	302,985	282,090
繰延税金資産	139,004	214,836
敷金及び保証金	408,669	425,469
保険積立金	82,188	-
その他	113,449	163,827
貸倒引当金	△48,070	△63,163
投資その他の資産合計	1,015,190	1,037,469
固定資産合計	5,947,996	6,191,003
資産合計	8,865,322	10,688,358

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	519,485	643,138
短期借入金	1,350,000	1,350,000
1年内返済予定の長期借入金	113,333	126,687
リース債務	43,207	37,778
未払金	501,086	663,611
未払費用	189,390	217,921
未払法人税等	20,459	158,343
未払消費税等	102,263	67,156
契約負債	48,337	24,155
前受金	3,563	3,095
預り金	13,157	13,368
前受収益	13,803	14,433
賞与引当金	70,456	68,621
流動負債合計	2,988,544	3,388,311
固定負債		
長期借入金	143,334	16,647
リース債務	80,462	53,539
退職給付引当金	163,457	171,447
長期未払金	156,925	180,056
その他	217,171	278,373
固定負債合計	761,351	700,064
負債合計	3,749,895	4,088,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,042,389	1,719,897
資本剰余金		
資本準備金	1,084,912	1,762,420
その他資本剰余金	3,786	5,730
資本剰余金合計	1,088,699	1,768,151
利益剰余金		
利益準備金	8,150	8,150
その他利益剰余金		
別途積立金	1,734,000	1,734,000
繰越利益剰余金	1,578,273	1,667,130
利益剰余金合計	3,320,423	3,409,280
自己株式	△336,898	△301,845
株主資本合計	5,114,613	6,595,483
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	814	4,499
評価・換算差額等合計	814	4,499
純資産合計	5,115,427	6,599,983
負債純資産合計	8,865,322	10,688,358

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	8,906,416	9,858,763
売上原価	4,360,419	4,649,022
売上総利益	4,545,996	5,209,740
販売費及び一般管理費	4,541,793	4,868,147
営業利益	4,202	341,593
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	538	626
貸倒引当金戻入額	137	—
助成金収入	1,626	—
為替差益	—	2,859
その他	3,022	2,694
営業外収益合計	5,325	6,180
営業外費用		
支払利息	6,979	7,370
シンジケートローン手数料	2,505	2,212
為替差損	1,524	—
貸倒損失	—	15,104
新株発行費	—	12,928
その他	957	419
営業外費用合計	11,967	38,035
経常利益又は経常損失 (△)	△2,439	309,737
特別利益		
固定資産売却益	3,798	—
保険解約戻戻金	7,413	66,924
受取保険金	10,440	—
特別利益合計	21,653	66,924
特別損失		
固定資産除却損	765	12,135
固定資産売却損	14,868	310
固定資産圧縮損	7,178	—
減損損失	314,127	36,472
関係会社株式評価損	—	20,895
その他	—	7,853
特別損失合計	336,939	77,666
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△317,726	298,995
法人税、住民税及び事業税	43,660	145,994
過年度法人税等戻入額	△20,738	△3,863
法人税等調整額	△20,625	△77,446
法人税等合計	2,297	64,685
当期純利益又は当期純損失 (△)	△320,023	234,310

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
						別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,042,389	1,084,912	1,516	1,086,428	8,150	1,734,000	2,043,264	3,785,414	△371,554
当期変動額									
剰余金の配当							△144,968	△144,968	
当期純損失 (△)							△320,023	△320,023	
自己株式の取得									△67
自己株式の処分			2,270	2,270					34,722
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	—	—	2,270	2,270	—	—	△464,991	△464,991	34,655
当期末残高	1,042,389	1,084,912	3,786	1,088,699	8,150	1,734,000	1,578,273	3,320,423	△336,898

	株主資本	評価・換算差額等		純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	5,542,679	△947	△947	5,541,732
当期変動額				
剰余金の配当	△144,968			△144,968
当期純損失 (△)	△320,023			△320,023
自己株式の取得	△67			△67
自己株式の処分	36,992			36,992
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)		1,761	1,761	1,761
当期変動額合計	△428,065	1,761	1,761	△426,304
当期末残高	5,114,613	814	814	5,115,427

当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
						別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,042,389	1,084,912	3,786	1,088,699	8,150	1,734,000	1,578,273	3,320,423	△336,898
当期変動額									
新株の発行	677,508	677,508		677,508					
剰余金の配当							△145,453	△145,453	
当期純利益							234,310	234,310	
自己株式の処分			1,943	1,943					35,053
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	677,508	677,508	1,943	679,452	—	—	88,856	88,856	35,053
当期末残高	1,719,897	1,762,420	5,730	1,768,151	8,150	1,734,000	1,667,130	3,409,280	△301,845

	株主資本	評価・換算差額等		純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	5,114,613	814	814	5,115,427
当期変動額				
新株の発行	1,355,016			1,355,016
剰余金の配当	△145,453			△145,453
当期純利益	234,310			234,310
自己株式の処分	36,997			36,997
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		3,685	3,685	3,685
当期変動額合計	1,480,870	3,685	3,685	1,484,555
当期末残高	6,595,483	4,499	4,499	6,599,983

(4) 個別財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(重要な会計上の見積り)
(店舗事業の固定資産の減損)

1. 財務諸表に計上した金額

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
有形固定資産	538,318千円	911,114千円
無形固定資産	787千円	787千円
長期前払費用	18,407千円	36,164千円

2. 会計上の見積りの内容について財務諸表利用者の理解に資するその他の情報
連結財務諸表の注記事項に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

5. その他

役員の異動

- (1) 代表取締役の異動
該当事項はありません。
- (2) その他の役員の異動
該当事項はありません。